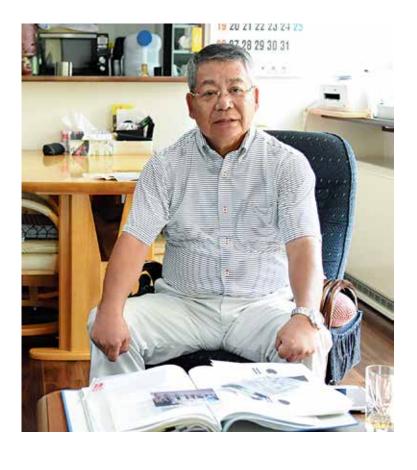
安協の会長に聞く

故を未然に防ぐ 安全を

小諸交通安全協会 会長 伊藤

平成5年から小諸交通安全協会南町区支部役員を 6年務め、その後交通指導員を18年歴任(うち、 8年会長)後、現在の役職に就く。セーフコミュ ニティの交通対策委員会では委員長として活躍。



現実が突き付けられているという。 かし、理想のまちの実現には、 れまで数多くの交通安全運動を通 事故のないまち」をめざしている。 の会長を務める伊藤さん 小諸市交通安全協会(安協 は、

せん。 ルを守る必要があります。_ は時として凶器になります。 しないと交通安全は始まりません。 け気を付けていても事故はなくなりま 事故は相手があることだから、 両と激突するというものでした。 によりカーブを曲がり切れず、 ストップ。原因はスピードの出し過ぎ 市では初めての記録となりまし 事故ゼロ1、000日を達成し、 ています。昨年、 故防止や二輪車の事故防止に力を入れ 人もそうだけど、歩く人もマナーやル 安協では、現在子どもと高齢者の事 ただ、自分が気を付ける努力を その後死亡事故は起き、 小諸市では交通死亡 運 自分だ 記録は 対向車 県 内 19 足転する た。 車

て訴えてきた。 だと思い、 人ひとりの交通安全への意識が大切 伊藤さんは、 何度も交通安全運動を通じ 安全なまちの構築には

できるかと言えばなかなかできないで は大変なことだと思います。 特に参加する人が多いと話す。 する交通安全運動は、 (では思っていても行動に移すこと 安協、 ボランティアで自主的に行動 警察などが主体となり実 小諸 例えば災害 この場合、

きいものになるんです。」 みんながまとまって活動すると、 が大切だと考えている中で、これだけ 事故をなくすためには、目に見える活動 には200人近い人が集まります。 いことしかできないかもしれない 人数が集まるのは効果があります。 交通安全も同じです。 人波作戦の時

住む皆さんの協力をお願いします。 だけでも交通安全になります。 意識することです。意識して運転する 人ひとりが事故を起こさないように 交通事故を未然に防ぐには、「一 素直に耳 小諸

伊藤さんの呼びかけに、





●小諸市で行われている交通安全運動の一つ「人波作戦」。 交通安全に取り組む各団体が集まり、通過車両に安全運転 をするよう促している。2伊藤さんが交通安全運動を通じ て、つながりができた「NPO 法人交通教育とらふぃっく Sisters」。交通安全をミュージカルで伝える切り口は多世代 に効果があり、高齢者教室や学校での交通安全教室に出演し ている。

・けど、